

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【科学的思考の基盤】	文学		岩尾 栄次		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019 年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	文学表現の基盤を学び、具体的・実践的・論理的な表現技術を学習する。また、優れた文学作品を講読することにより、自己表現及び対人コミュニケーション能力を育成する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	言語表現を磨く	○	○	○		
	2	五感を鍛えることが出来る			○		○
	3	豊かな情緒を育てる	○			○	○
	4	生命の尊さを考えることができる	○	○			○
	5	大まかな歴史の流れを理解できる	○			○	
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	日本文学概論(上代～)日本の神話	講義		岩尾 栄次		
	2	日本文学概論(上代～)三種の神器	講義		岩尾 栄次		
	3	日本文学概論(奈良～平安)物語文学	講義		岩尾 栄次		
	4	日本文学概論(平安)大和言葉、古今和歌集、三大随筆	講義		岩尾 栄次		
	5	日本文学概論(近世)三大随筆	講義		岩尾 栄次		
	6	古典基礎知識「古典」の世界をより楽しむ知識	講義		岩尾 栄次		
	7	俳句と川柳と作品作り 俳句、川柳ワークシート	講義		岩尾 栄次		
	8	「きらり看護」、俳句鑑賞(生徒作品)お題さがし	講義		岩尾 栄次		
	9	「きらり看護」、俳句鑑賞(生徒作品)俳句発表	発表		岩尾 栄次		
	10	敬語について「きらり看護」丁寧語、尊敬語、謙譲語	講義		岩尾 栄次		
	11	敬語演習・「きらり看護」敬語の使い方	講義		岩尾 栄次		
	12	故事成語・「きらり看護」日本人の衣食住に関する読み書き	講義		岩尾 栄次		
	13	小論文演習・「きらり看護」	講義		岩尾 栄次		
	14	小論文演習・「きらり看護」話言葉、書き言葉	講義		岩尾 栄次		
	15	まとめ・「きらり看護」	講義		岩尾 栄次		
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							
授業時間外に必要な学修							

<p>使用参考教科書</p>	<p>「きらり看護」川島みどり 俳句に挑戦の資料あり</p>						
<p>成績評価の方法</p>	<p>到達目標ごとの評価方法</p>	<p>1.終講試験</p>	<p>2.小テスト</p>	<p>3.発表</p>	<p>4.課題・レポート</p>	<p>5.授業へのとりくみ状況</p>	<p>6.その他(備考)</p>
<p>(自由記述欄)</p>							
<p>成績評価の基準</p>	<p>・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。</p>						
<p>履修にあたっての留意点 学生へのメッセージ その他</p>							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【科学的思考の基盤】	英語		池辺 正子		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019 年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	国際化社会の進展に伴い、国際語として学び、将来外国人や医療英語に対応するための英語力を身につける。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	基本的医療医療英語理解することが出来る	○	○	○	○	○
	2	基本的文法が理解できる	○	○	○	○	○
	3	基本的会話の聞き取りになれる	○	○	○	○	○
	4						
5							
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	診療科読み練習	講義・小テスト		池辺 正子		
	2	診療科練習 症状和訳、読み練習	講義・小テスト		池辺 正子		
	3	Dialogue、聞き取り会話練習	講義・小テスト		池辺 正子		
	4	問診票説明 専門用語	講義・小テスト		池辺 正子		
	5	身体部分名前確認	講義・小テスト		池辺 正子		
	6	臓器の名前、読み方、痛みの言い方、確認	講義・小テスト		池辺 正子		
	7	過去形の説明、症状読み方意味	講義・小テスト		池辺 正子		
	8	用語説明	講義・小テスト		池辺 正子		
	9	小テスト2回分	講義・小テスト		池辺 正子		
	10	単数、複数の説明、用具の名前	講義・小テスト		池辺 正子		
	11	患者さんへの指示の英語	講義・小テスト		池辺 正子		
	12	読み、訳確認、Q&A	講義・小テスト		池辺 正子		
	13	Q&A、死因説明、練習問題	講義・小テスト		池辺 正子		
	14	時間の言い方、道案内	講義・小テスト		池辺 正子		
	15	総復習	講義・小テスト		池辺 正子		
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							
授業時間外に必要な学修							

使用 参考 教科 書	ホスピタル・イングリッシュvital signs						
成績 評価 の 方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポ ート	5.授業へのと りくみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標1	○					
	到達目標2	○					
	到達目標3					○	
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由記述欄 評価方法)							
成績 評価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修にあたっての留意点 学生へのメッセージ その他							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【科学的思考の基盤】	情報科学		安部 民枝		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	社会の環境変化にともない、適切な情報構築方法や活用方法・情報管理方法を学び、医療環境の変化に活用できるための基盤を習得する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	インターネットの使い方を理解する	○	○	○	○	○
	2	タイピングの練習				○	○
	3	基本的なパソコン操作を理解する	○		○	○	○
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	パソコンの基礎、インターネットでの検索	講義・演習		安部 民枝		
	2	入力練習、word基礎	講義・演習		安部 民枝		
	3	word ビジネス文書作成、SNSの取り扱い	講義・演習		安部 民枝		
	4	word ビジネス文書作成、ネットからの引用	講義・演習		安部 民枝		
	5	word 罫線、表の作成	講義・演習		安部 民枝		
	6	Excel 基礎、メールの使い方	講義・演習		安部 民枝		
	7	Excel 基礎、計算式の入力	講義・演習		安部 民枝		
	8	Excel 関数の使い方、合計、平均	講義・演習		安部 民枝		
	9	Excel 少数点の扱い方、小数点データの取り扱い	講義・演習		安部 民枝		
	10	Excel その他の関数	講義・演習		安部 民枝		
	11	Excel グラフの作成	講義・演習		安部 民枝		
	12	Excel 複雑な関数	講義・演習		安部 民枝		
	13	ExcelとWordの連携、Wordの復習	講義・演習		安部 民枝		
	14	Excelの復習 情報モラル、マナーの復習	講義・演習		安部 民枝		
	15	Word・Excel 総復習、情報モラル復習	講義・演習		安部 民枝		
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							
授業時間外に必要な学修							

使用 参考 教科 書	30時間でマスター Office2016						
成績 評価 の 方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり くみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標1	<input type="radio"/>					
	到達目標2	<input type="radio"/>					
	到達目標3	<input type="radio"/>					
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由 記述 欄)							
成績 評価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修に あたって の留意 点 学生 への メッ セー ジ その他							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【人間と生活・社会の理解】	教育学		針塚 瑞樹		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	教育の意義と本質を学び、看護における教育的かかわり方や指導的役割の重要性を理解する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	学校を中心とした教育の歴史について理解し、説明することができる	○	○		○	○
	2	今日の社会における子どもと発達に対する考え方を理解し、説明することができる	○	○		○	○
	3	今日の学校を中心とした教育における課題について理解し、説明することができる	○	○		○	○
	4						
5							
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	自己紹介とオリエンテーション	講義		針塚 瑞樹		
	2	公教育における近年の改革	講義・演習		針塚 瑞樹		
	3	社会の中の教育と看護	講義		針塚 瑞樹		
	4	教育とは何か「教育」の概念	講義		針塚 瑞樹		
	5	子どもを価値とする「教育」	講義		針塚 瑞樹		
	6	子ども観と発達	講義		針塚 瑞樹		
	7	権利行使主体としての子ども	講義		針塚 瑞樹		
	8	社会変動と教育(DVD)	講義・演習		針塚 瑞樹		
	9	社会変容の中の教師	講義		針塚 瑞樹		
	10	教育の組織化	講義		針塚 瑞樹		
	11	ジェンダーと教育の課題	講義		針塚 瑞樹		
	12	セクシュアリティと教育の課題(DVD)	講義		針塚 瑞樹		
	13	特別支援教育	講義		針塚 瑞樹		
	14	特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育	講義		針塚 瑞樹		
15	まとめ 教育を学んで	講義		針塚 瑞樹			
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							

授業時間外に必要な学修							
使用参考教科書	系統看護学講座 基礎分野 教育学						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとりくみ状況	6.その他(備考)
	到達目標1	○					
	到達目標2	○					
	到達目標3	○					
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由記述欄)							
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修にあたっての留意点 学生へのメッセージ その他							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【人間と生活・社会の理解】	心理学		川瀬 泰治		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	人の心のしくみやことと行動のメカニズムを学び、看護の対象である人間の理解を深める。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	心理学に関する基本的な知識を得る	○	○		○	○
	2	ピアジェの発達段階論について理解する	○	○		○	○
	3	エリクソンの発達段階論について理解する	○	○		○	○
	4	フロイトの人格理論について理解する	○	○		○	○
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	心理学の研究対象について	講義		川瀬 泰治		
	2	感覚と知覚(1章)	講義		川瀬 泰治		
	3	知覚と認知、認知の発達	講義		川瀬 泰治		
	4	ピアジェの発達段階論	講義		川瀬 泰治		
	5	エリクソンの発達段階論	講義		川瀬 泰治		
	6	フロイトの人格理論	講義		川瀬 泰治		
	7	青年期以降の人格発達	講義		川瀬 泰治		
	8	発達障害と相互主体性	講義		川瀬 泰治		
	9	学習と記憶、条件反射	講義		川瀬 泰治		
	10	記憶のしくみ	講義		川瀬 泰治		
	11	エピソード記憶と意味記憶	講義		川瀬 泰治		
	12	感情・情動	講義		川瀬 泰治		
	13	情動の二要因論	講義		川瀬 泰治		
	14	欲求と動機づけ	講義		川瀬 泰治		
	15	性格と知能	講義		川瀬 泰治		
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
23							
授業時間外に必要な学修							

使用 参考 教科 書	系統看護学講座 基礎分野 心理学						
成績 評価 の 方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レ ポート	5.授業へのと りくみ状況	6.その他 (備考)
(自由 記述 欄)							
成績 評価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ 履 修 に あ た っ て の 留 意 点							

分野	科目名		担当教員	実務経験の有無			
				有	無		
基礎分野 【人間と生活・社会の理解】	教育心理学		小野 規子	○			
科目単位数	時間	対象学年	開講時期	2019 年入学生			
1	30	1	後期				
学習内容	教育学と心理学で学んだ基礎理論と知識・技法を活用し、看護場面での教育的関わりの方法を理解する。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	心理学における基礎的な用語の意味を理解し、説明することができる	○	○		○	○
	2	指導の場面における関係性の特徴や情報技術の活用について理解し、説明することができる	○	○	○	○	○
	3	援助技術、面接の方法を理解し、説明することができる	○	○	○	○	○
	4						
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	教授—教えるということ	講義		小野 規子		
	2	訓育—他者との関わりを導く	講義		小野 規子		
	3	SGE—他者との関わりを導く技法	講義		小野 規子		
	4	目標と評価の関係性	講義		小野 規子		
	5	看護記録—評価のための観察	講義		小野 規子		
	6	教育のメディア—メディアとしての教師	講義		小野 規子		
	7	教育(指導)をデザインする	講義		小野 規子		
	8	教育におけるメディア使用	講義		小野 規子		
	9	患者の理解・仮説と検証(演習)	講義		小野 規子		
	10	ストレス理論(セリエ、ラザルス)とストレスコーピング、学習性無気力	講義		小野 規子		
	11	原因帰属、自己効力感、統制の所在	講義		小野 規子		
	12	バーンアウト、臨床心理学の基礎、心理的援助の方法	講義		小野 規子		
	13	テキスト9章 カウンセリングと心理療法	講義		小野 規子		
	14	臨床心理学の基礎=心理的援助の構造、面接の方法	講義		小野 規子		
	15	面接の方法、心理アセスメント	講義		小野 規子		
	16						
17							

	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
授業時間外に必要な学修							
使用参考教科書							
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業への取り組み状況	6.その他(備考)
	到達目標1	○					
	到達目標2	○					
	到達目標3	○					
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由記述欄)							
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修にあたっての留意点 学生へのメッセージ その他							

分野	科目名		担当教員		実務経験の有無		
					有	無	
基礎分野 【人間と生活・社会の理解】	倫理学		野村 文宏		○		
科目単位数	時間	対象学年	開講時期		2019 年入学生		
1	30	1	前期				
学習内容	医療における倫理的課題や問題について理解し、看護の視点から生命の尊厳や倫理について理解を深め、人や生命に対する価値観や倫理観を養う。						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	倫理学と生命倫理学の基礎を理解する	○	○		○	○
	2	生命倫理の歴史を学ぶ	○	○		○	○
	3	死生学の視点を理解する	○	○		○	○
	4	先端な医療技術の課題を学ぶ	○	○		○	○
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	倫理学、生命倫理学とは、どのような内容か？	講義		野村 文宏		
	2	健康、病気とはどのような状態か。	講義		野村 文宏		
	3	ヒポクラテスの誓い、パターナリズム	講義		野村 文宏		
	4	パターナリズムについて①	講義		野村 文宏		
	5	パターナリズムについて②	講義		野村 文宏		
	6	相対主義、安楽死	講義		野村 文宏		
	7	相対主義、安楽死①	講義		野村 文宏		
	8	安楽死②	講義		野村 文宏		
	9	安楽死③と死の定義	講義		野村 文宏		
	10	安楽死④とレポートの書き方の生の意味	講義		野村 文宏		
	11	生の意味、脳死と臓器移植	講義		野村 文宏		
	12	臓器移植、教養の意味	講義		野村 文宏		
	13	臓器移植のまとめ、責務を超える善行	講義		野村 文宏		
	14	子どもの医療	講義		野村 文宏		
	15	国試対策	講義		野村 文宏		
	16						
	17						
18							

	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
授業時間外に必要な学修							
使用参考教科書	系統看護学講座 別巻 看護倫理						
成績評価の方法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業への取り組み状況	6.その他(備考)
	到達目標1	○					
	到達目標2	○					
	到達目標3	○					
	到達目標4	○					
	到達目標5						
(自由記述欄)							
成績評価の基準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
履修にあたっての留意点 学生へのメッセージ その他							

分野		科目名		担当教員		実務経験の有無	
						有	無
基礎分野 【人間と生活・社会の理解】		健康体育		長野 力		○	
科目単位数	時間	対象学年		開講時期		2019年入学生	
1	45	1		前期			
学習内容	<p>自己の健康管理と体力の向上を目的とし、ストレッチ体操及び主要筋肉の名称と働きを習得出来るようにする。 高齢者に対するの運動療法、運動指導、介護予防のあり方について理解させる。 2年生での実習に向けて意識及び技術を養う。 スポーツを通じて集団での協力、協調性を養う。 1年生・2年生の合同宿泊研修を通じて集団での協力、協調性を養う。</p>						
到達目標	No.	到達目標	知識・理解	思考・判断	技術・表現	意欲・関心	態度
	1	体力測定を行い、自己の体力を認識し、ストレッチ体操を正しく習得する。		○		○	○
	2	バレーボール、バドミントン、バスケットボール等の運動により体力向上と集団の協力並びに協調性を習得する			○	○	○
	3	トレーニング室で器具を使用することにより、自己の体力を向上させ健康管理について習得させる					
	4	高齢者の運動療法、運動指導、介護予防のあり方について理解させる					
	5						
授業計画	No.	授業内容	授業方法		備考 (講師名)		
	1	ガイダンス・ストレッチ体操	実技		長野 力		
	2	ストレッチ体操・トレーニング室説明	実技		長野 力		
	3	ストレッチ体操・バレーボール・バドミントン	実技		長野 力		
	4	由布の丘新入生歓迎宿泊研修	実技		長野 力		
	5	由布の丘新入生歓迎宿泊研修(湯布院の町散策)	実技		長野 力		
	6	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	7	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	8	運動と健康についての講義	講義		長野 力		
	9	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	10	体力測定法実習	実技		長野 力		
	11	グループ対抗バドミントン大会	実技		長野 力		
	12	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	13	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	14	グループ対抗バレー大会	実技		長野 力		
	15	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	16	ストレッチ体操・バレーボール・バスケ・トレーニング	実技		長野 力		
	17	ストレッチ体操テスト	実技		長野 力		
	18						
19							

	20						
	21						
	22						
	23						
に授 必業 修要時 間な 学外							
使 参用 考教 書科 書	健康ストレッチ運動のすすめ 高齢者の運動療法、転倒予防トレーニング資料						
成 績 評 価 の 方 法	到達目標ごとの評価方法	1.終講試験	2.小テスト	3.発表	4.課題・レポート	5.授業へのとり くみ状況	6.その他 (備考)
	到達目標1					○	
	到達目標2					○	
	到達目標3						
	到達目標4						
	到達目標5						
(自由 記述 欄 評 価 方 法)	体力測定 ストレッチ体操の指導試験 出席率						
成 績 評 価 の 基 準	・学習の到達度に応じて、優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)で評価する。						
学 生 へ の メ ッ セ ー ジ 履 修 に あ た っ て の 留 意 点 其 他	体を動かすことによる爽快感をみんなで楽しく体験しよう。						